

	児童の実態	指導上の課題	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
国語	<ul style="list-style-type: none"> 音読や読書が好きで、進んで取り組む。 語彙力が十分でない児童が多い。 友達の考えを聞くことが好きだが、自分の考えを話すことは苦手な児童が多い。 自分の考えや思ったことを文章で表現する力は十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題をきちんと理解し、課題解決できるようにさせる。 書かれている内容を正確にとらえ、確かな読みができるようにさせる。 出来事や思ったことを整理して順序だてて書くようにさせる。 辞書を活用し、言葉に慣れ親しむようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題の提示をわかりやすくし、解決に向けてスモールステップをする。 文章で表現することを習慣化させ、表現の仕方、文章の組み立て方や言葉の決まりを細かく指導する。 学校図書館を活用し、読んだ本について紹介する活動を行う。 言語に対する関心を高め、自分の考えを伝えあう機会を多くもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝のスピーチで、話し方、聞き方表現の仕方を学習する。 家庭学習での日記を習慣的におこなう。 様々な文章形態に触れ、書くことへの関心がもてるようにする。 文章を推敲する機会を多くもつ。 自分の考えを伝える場を多くもつ。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に取り組むことができる。 グラフや資料を読み取る力は不十分である。 調べたことや見学したことをもとにわかったことを新聞などで表現する力がついてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都についてや自分の生活を守る人々の役割についてわかったことをわかりやすく表現できるようにさせる。 学習の目標を明確にし、ポイントをしぼって学習を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 工場見学、環境学習、体験学習などを通して、児童のことを日々の生活に生かしていく。 児童の疑問や知りたいと思うことを大切にし、その解決から学習が深められるようにする。 写真などの資料から読み取ったことをまとめ、伝え合う活動を取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表したものをもとにみんなでもう一度学びあい、教えあい、社会科の学習内容の理解を深める。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた課題に真剣に取り組む、よく考えて取り組む。 計算の力は身に付いている児童が多い。 長さや時間、角度など、量的にとらえる力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> 考える習慣をつけさせ、自分の考えをノートに書いて発表する経験をさせる。 友達の考えをきちんと理解し、考え方の多様性が分かるようにする。 文章を想像しながら読むようにさせる。 体感的に量をとらえられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に取り組めるよう、能力に応じた課題を出すようにする。 既習の問題を繰り返し解くようにする。 ノートの書き方をしっかりと身に付けさせ、学習したことが積み重なっていくようにする。 個人指導の充実をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元によって、少人数クラスの編成を変える。 習熟の時間を活用し、計算力の向上をはかる。 分かったことを自分の言葉で表現する活動を取り入れていく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 興味をもって学習に取り組む。 植物や生き物の観察に意欲的に取り組み、カードに適切に表現できつつある。 実験の結果について考えをまとめられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験においては、結果の予想とその理由、実際の結果との違い一つ一つ考えさせながら取り組ませる。 学習したことが生活と密着できるよう、考えさせる。 観察はポイントを絞って書くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の目的、内容、予想、結果、考察と一連の流れに沿って学習を進める。 グループ活動を取り入れ、考えを出し合いながら、考えを深められるようにする。 身近な動植物に興味をもてるよう、環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 理科のキーワードを、自分の言葉で説明できるようにさせる。 動植物に関しては、継続して飼育できる環境をつくる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 友達と協力して活動できる。 跳んだり、はねたり、走ったり、ボールを投げたり、ぶらさがったり、色々な動きを楽しんで取り組む。 自分の目標達成に向けて努力する姿が多くみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達同士で話し合っってよりよい動きを工夫する力を身につけさせる。 自分の能力にあった目標を持たせ、適切な練習ができるようにする。 いろいろな運動に取り組む、様々な動きを経験させ、楽しんで活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 筋力のアップを意識し運動能力向上に努める。 友達と協力して運動する機会を多く持つ。 クラス遊び等をきっかけとし、放課後遊びが出来るように働きかけ、運動の機会が増えるようにする。 基本の運動で段階的に技能を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 努力が結果として表れるよう、スモールステップを心がける。 できるようになったことが自分で分かるように、学習カードを活用する。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> よいこと、悪いことの判断は出来るが、自分の意志をもって活動することが不十分な児童が多い。 よい所を認め合う雰囲気は少しずつできている。 適切な言い方で互いに注意し合うことに努力している。 	<ul style="list-style-type: none"> 他人の問題を自分に置き換えて考えることがまだ十分できていない。 身近でより重要な問題を厳選する必要がある。 道徳で学んだことを日常の生活に生かすことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童一人一人にとって身近に感じられる教材を用意する。 学んだことが実生活で生かされるように声かけをする。 身近な問題に関心をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での生活の様子に絶えず気を配っておく。 自分の経験を振り返って、伝えたり、考えを持ちたりし、それらを発表できるようにする。
特活	<ul style="list-style-type: none"> 全員が納得して話し合いが進められるよう協力している。 自分の考えを伝えられる児童が多い。 楽しんで係活動に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのルールが身に付き、充実した話し合いができている。助言を精選する。 よりよい話し合いの進め方を考えさせる。 様々な工夫ができるようはたらきかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで解決できる力を養う。 友達の発言や態度の良さに気がつくことができるようにする。 活動の振り返りを大事にし、子供の感じたことをもとに助言していく。 	<ul style="list-style-type: none"> よい意見や活動は全体の前で取り上げ、みんなの財産として力をつけていけるようにする。 経験したことを次の話し合いで活かせるように助言していく。
総合	<ul style="list-style-type: none"> 体験学習に意欲的に取り組む。 調べたことをまとめる力がつきつつある。 工夫して発表する力は弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の興味のある課題から、少しずつ社会に目が開かれるよう、系統的な学習の計画を用意する必要がある。 課題にあった様々な発表の仕方を経験させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童に計画、準備、実行、考察までを行わせ、プロジェクトの全貌を見通す力をつけさせる。 発表の仕方、まとめ方の例を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部の指導員による学習指導の充実。 社会科の学習と関連させていく。